

居合道称号「錬士」審査会要項

全日本剣道連盟

1. 申込対象者

- (1) 居合道六段受有者で、受有後1年以上を経過（令和6年5月31日以前に取得）した者。
- (2) 居合道五段受有者で、受有後10年以上を経過（平成27年5月31日以前に取得）し、かつ、年齢60歳以上の者（称号・段級位審査規則第11条2項による特例）。

2. 申込方法

- (1) 受審希望者は、所定の錬士受審申請書に小論文を添え、各支部に提出する。
- (2) 年齢基準は審査当日（5月3日）とする。

3. 都道府県剣道連盟の推薦

- (1) 申込者が提出した、錬士受審申請書と小論文を受理する。

小論文の内容

- ① 課題 平成19年3月14日制定の「剣道指導の心構え」の要点を記し、それをふまえたうえでのあなたの居合道修業について述べなさい。
* 参考書籍「剣道指導要領」（全剣連発行）
- ② 字数 400字以上800字以内。
- ③ 用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）用紙1～4行目に表題と登録都道府県・氏名を記し、5行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。2枚の原稿用紙は右上ホッチキスで止めること。（凡例参照）
- ④ 提出 封筒長3（長さが23.5cm・幅が12cm）の表に「居合道称号錬士受審」、裏に登録都道府県と氏名を表記し封印したもの。

- (2) 都道府県剣道連盟会長は、申込者が規則第10条第1号の付与基準に該当し、かつ、実施要領の「錬士を受審しようとする者の備えるべき要件」（①～③）を満たしていると認めた場合、全剣連会長に候補者として推薦する。なお規則第11条第2項の特例による推薦は特に厳選のこと。
- (3) 推薦方法は、候補者推薦書を作成して、受理した受審申請書と小論文（封印のまま）を添えて全剣連に送付する。

4. 申込締切 各支部締切日

5. 申込先 各支部

6. 審査の方法

(1) 小論文の審査

課題に対して適切な内容でまとめられているか、居合道に対する受け止め方と文章の表現能力等について審査を行う。

(2) 審査会による審査

小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

7. 審査会期日 令和7年5月3日(祝)

8. 審査料

19,000 円

9. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を各都道府県剣道連盟に送付するほか、後日、全剣連月刊「剣窓」および全剣連ホームページ(<https://www.kendo.or.jp/>)に合格者の氏名を掲載する。

10. 個人情報保護法への対応

※ 以下を周知して下さい。

参加者の個人情報(登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等)は、全日本剣道連盟および地方代表団体(各都道府県剣道連盟)が行事運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体(掲示用紙、ホームページ、剣窓等)に公表することがある。更に、普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

○別紙「講習会・稽古会参加実績報告書」に実績を記入の上、申請書・小論文と共に提出してください。

**○稽古会・講習会への2回の参加実績が必要となります。
参加実績有効期間：令和6年3月1日～令和7年2月28日**

※詳細については別紙をご参照ください。

申請番号

全剣連称号・段位様式第 5 号
年 月 日

*都道府県剣道連盟で記入する。
*申請番号は若年順に記入する。

- 1. 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

錬士 受審申請書 (本人用)

*該当するものに○印をする。

(申請都道府県剣道連盟)

剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、
道 錬士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

	フリガナ		フリガナ
1 受審者氏名		(旧姓)	
2 生年月日	年 月 日 生	年齢 満	歳
3 性別	男 ・ 女		
4 取得称号・段位	段 位 段		
取得年月	年 月		
登録県名	登録県名		
5 全剣連番号			
6 住所	〒		
7 電話番号		携帯番号	
8 職業			
9 全剣連社会体育 中級認定年月	年 月 認定		

※認定者のみ記入。

特例錬士

- 1. 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

*該当するものに○印をする。

錬士 受審申請書 (本人用)

(申請都道府県剣道連盟)

剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段位位審査規則[第11条第2項(五段受有者)]に基づき、
道錬士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ	フリガナ
1 受審者氏名	(旧姓)
2 生年月日	年 月 日生 年齢満 歳
3 性別	男 ・ 女
4 取得 段位	段 位 五 段
取得 年 月	年 月
登録 県 名	登録県名
5 全剣連番号	
6 住 所	〒
7 電話番号	携帯番号
8 職 業	
9 賞罰の有無	
10 全剣連社会体育 中級認定年月 ※認定者のみ記入。	年 月 認定

公益財団法人 全日本剣道連盟
会長 稲川 泰弘 殿

特例錬士

1. 剣道
2. 居合道
3. 杖道

*該当するものに○印をする。

剣道連盟

会長

印

錬士候補者推薦書

今般、下記の者を全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第2項（五段受有者）]に基づき錬士候補者として特に推薦いたしますので、審査願います。

フリガナ 氏名 生年月日	年 月 日 満 歳		全剣連番号	[職業]
本籍			性別 男・女	[連盟役員]
現住所	〒			[最終学歴]
五段取得 年月日	年 月 日	五段取得 剣道連盟		
[職歴]				
[剣歴]				
[斯道への功績]				
[剣連認定講習会実績]				
[推薦の特別な理由]				

年 月 日

称号受審申請に伴う
講習会・稽古会参加実績確認書

受審称号 審査予定日 審査会場

支部名 _____ 支部 _____ 道場名 _____

名前 _____

講習会・稽古会名	年 月 日
審判実績(審判講習)	年 月 日

※教士号受審者は審判実績(審判講習)欄も記入すること、また県外での審判実績については、それがわかる資料(大会プログラムの審判員一覧や審判割付表など)の写しを添付すること